

愛知医科大学病院



□ 主な連携施設

岡崎市民病院、名古屋掖済会病院、海南病院、
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、公立陶生病院、東濃厚生病院、南生協病院、愛知県がんセンター病院

□ メッセージ

指導医（教授 都築豊徳）

病理診断は現代医療に欠かせない領域で、腫瘍、炎症、変性疾患、感染症に至るまで広い領域を網羅しています。病理診断が治療方針決定の根幹となる領域が多数あり、その診断精度は医療機関の充実度を測る目安とされています。病理医の世間的な認知度は高くないためか、全国的に病理医の絶対数は不足しています。それとともに、現代の医療の高度化により、質の高い病理医の育成は急務とされています。



私たちの教室では多数の指導医の元に、専門医希望の医師が適格な病理診断が行える知識及び技能を習得できる態勢を整えています。また、最新の機器を揃えており、現代の病理診断に必要とされる免疫組織染色及び遺伝子検索が日常的に行われています。当教室で研修される医師はこれらの最新の知識及びその解釈が学習できる態勢にあります。併せて、学会発表及び論文作成の指導も行っています。

病理医は臨床全体を見渡すことが出来る数少ない臨床科です。私たちとともに日本の医療に貢献してみませんか？

□ 募集要項

・採用予定人数	2人
・給与/月額	基本給 173,500円 +地域手当+調整加算手当等 約 76,000円
・当直回数/月	回
・当直料/回	(救急外来) 宿直手当 約 33,000円 (病棟) 宿直手当 20,000円
・その他	通勤手当, 住宅手当, 扶養手当, 賞与(年2回), 社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金)), 健康診断 ※ 診療科から外勤の斡旋があります。
・応募連絡先	担当者 都築豊徳 電話番号 0561-78-6302 Eメール tsuzuki@aichi-med-u.ac.jp

病院長名 道勇 学

所在地 〒480-1195

愛知県長久手市岩作雁又1番地1

交通案内 地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分
東名高速名古屋ICから車で約15分

□ 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。特定機能病院や高度救命救急センターなどに指定され、充実した設備と最新の診療体制を整え、尾張東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。

「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに、高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し、数多くの最新医療機器を導入し、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

愛知医科大学医学部 病理専門研修プログラム

【研修目標】

臨床に即した病理診断が行える知識及び技術を習得する。病理専門医及び細胞診専門医を取得する。学会発表及び学術論文作成が出来る知識を習得する。

【研修期間】

3年

【研修スケジュール】

外科病理トレーニング:

午前: 毎朝8時30分より、スタッフ全員で行う診断チェックに参加する。その後、手術標本の切り出しを行う。

午後: 自らが切り出した標本の検鏡を行う。随時抄読会を行う。

病理解剖トレーニング:

死体解剖資格取得前: 剖検数が5体までは、上級医の剖検の補助をしながら、剖検手技を習得する。それ以降は、主執刀医として優先的に解剖を行う。剖検診断書の作成の技能を習得する。

死体解剖資格取得後: スタッフと同様の剖検態勢に入る。



▲病理診断の現場